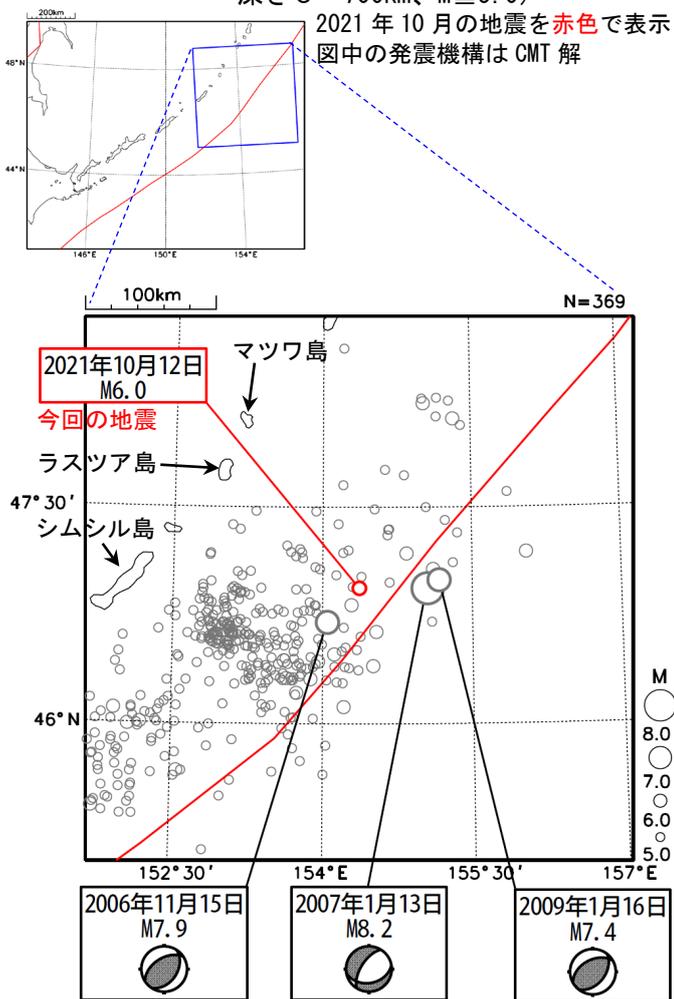


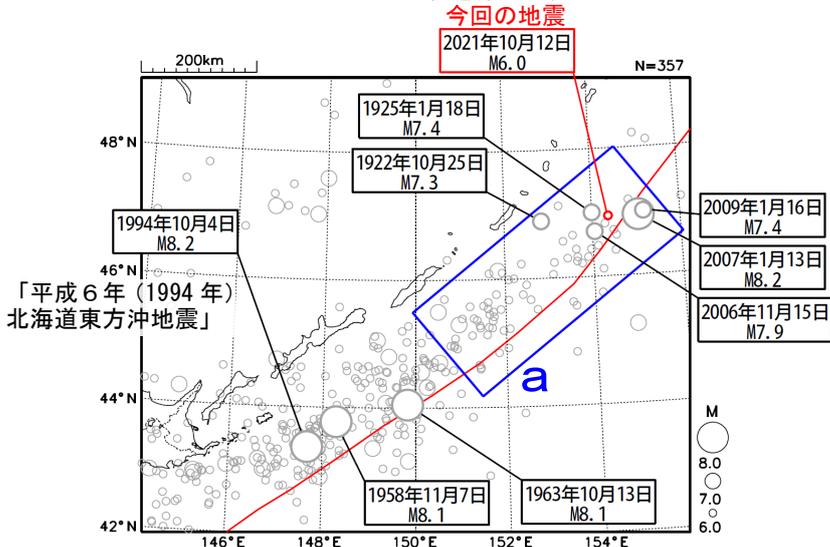
# 10月12日 北西太平洋（千島列島付近）の地震

震央分布図  
(1997年10月1日～2021年10月31日、  
深さ0～700km、 $M \geq 5.0$ )  
2021年10月の地震を赤色で表示  
図中の発震機構はCMT解



赤色の実線は Bird, P. (2003)によるプレート境界

震央分布図  
(1919年1月1日～2021年10月31日、  
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$ )  
2021年10月の地震を赤色で表示  
今回の地震



赤色の実線は Bird, P. (2003)によるプレート境界

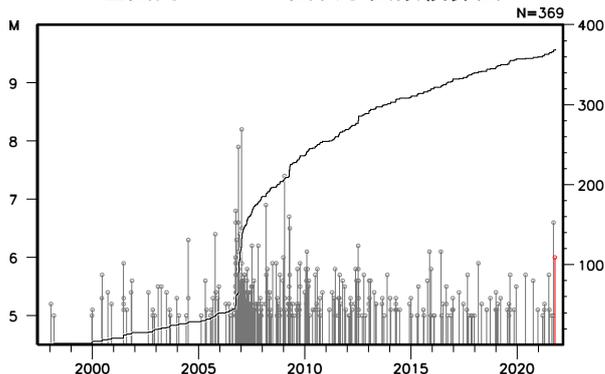
\* 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

2021年10月12日08時10分に北西太平洋でM6.0の地震（国内で震度1以上を観測した地点はなし）が発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、今回の地震の他にM6.0以上の地震が時々発生している。2006年11月15日に発生したM7.9の地震では、日本国内で震度2の揺れを観測したほか、三宅島坪田で84cmなど、オホーツク海沿岸から太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島の広い範囲で津波を観測した。その約2か月後に発生した2007年1月13日の千島列島東方（シムシル島東方沖）の地震（M8.2）では、三宅島坪田で43cmなど、北海道日本海沿岸北部からオホーツク海沿岸、太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島で津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M7.0以上の地震が時々発生している。

左図内のM-T図及び回数積算図



領域a内のM-T図

